

議 事 録

会議の名称	令和3年度第1回岩倉市地域公共交通会議	
開催日時	令和3年5月10日(月) 午前10時から午前11時40分まで	
開催場所	岩倉市役所7階 第2・第3委員会室	
出席者	中部大学教授 名鉄バス株式会社 名鉄西部交通株式会社 愛知県バス協会 愛知県タクシー協会 名鉄西部交通労働組合 中部運輸局愛知運輸支局 愛知県交通対策課 愛知県一宮建設事務所 江南警察署 区長会長 老人クラブ連合会代表 公募(市民委員登録制度) 岩倉市総務部長	磯部 友彦 吉岡 実 (代理:久米 裕之) 久留宮 優司 小林 裕之 松浦 秀則 伊藤 孝 山内 三奈 澤木 徹 (代理:小嶋 直也) 伊藤 明輝 服部 大介 (代理:小笠原 伸高) 飯田 賢 赤堀 俊之 太田 勇喜夫 中村 定秋
事務局	協働安全課長 協働安全課統括主査 協働安全課主任 秘書企画課長 秘書企画課主幹 秘書企画課主任	小松 浩 須藤 隆 桑野 侑樹 秋田 伸裕 小出 健二 岡田 剛幸
会議の議題	・ふれ愛タクシーの利用状況について ・ふれ愛タクシー利用等共同調査の実施結果について	
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他	
記載内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている(未確認) <input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他()	
会議に提出された資料の名称	・次第 ・資料1:岩倉市地域公共交通会議委員名簿 ・資料2:岩倉市地域公共交通会議条例 ・資料3:ふれ愛タクシーの実績 ・資料4:ふれ愛タクシー利用等共同調査の実施報告について ・参考資料1:ふれ愛タクシー(パンフレット) ・参考資料2:デマンド型乗合タクシーの実績	

	・参考資料3：ふれ愛タクシーの登録者数の推移
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	2人
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）	
1	開会
2	委嘱状交付
3	市長あいさつ 市長よりあいさつ。
4	委員自己紹介
5	会長の選出 昨年度まで会長であった磯部委員の再任。
6	会長職務代理者の選出 飯田委員を指名。
7	会長あいさつ 会長よりあいさつ。
8	報告事項 (1) ふれ愛タクシーの利用状況について 資料3について、須藤統括主査から説明 小嶋代理：小学校就学前児童の利用目的はどういったものがあるか。参考までに教えていただきたい。保育園・幼稚園への登園なのか、習い事なのか。 事務局：ふれ愛タクシーは、ルールとして、通勤・通学という利用の仕方を許容していないので、ほとんどの場合が小児科等へ行く場合の通院に利用されている、と考えている。それ以外に、妊産婦の場合は産婦人科への通院への利用が多いと思われる。どちらにしても、保育園・幼稚園への登園としては利用していない。 磯部会長：岩倉市は子育て支援に力を入れているので、政策的な理由もあると思われる。他の市ではなかなかない施策なので、そのように思われたと思う。 事務局：そうですね。通院以外では、磯部会長が言われた通り、子育て支援センターなど公共

く 施設への利用もある。

山内委員：妊産婦は産後3か月までが利用できるがあるとあるが、その後、就学前の児童を利用者として登録することで利用できるという認識でよいか。

事務局：そうです。自動更新ではありません。

山内委員：妊産婦から児童に切り替わる際の更新の申し込みについては、申込しやすい機会を設けているか。そういった要望はあるか。

事務局：初めに登録する際には、市役所に来ていただき説明をするので、その際に産後3か月後に生まれた子が登録しなおす必要があることは説明している。

山内委員：例えば、乳幼児健診などで周知をし、利便性を高めているか。

事務局：定期健診の会場である保健センターなどには案内を設置しているので、一定程度周知は行き届いている。

山内委員：利用区間について、400円と800円の利用がほとんどだが、400円で想定される距離・区間はこういったものか。

事務局：岩倉市は市域が10.47平方キロメートルでコンパクトなため、市役所やアピタ岩倉店などの市の中心部にある施設については、おそらく市内のほとんどの場所から400円で来ることができると思う。ただし、市の端から逆の端へ行く場合は、タクシー運転手の通ったルートにもよるが800円になる場合が出てくる。多くの公共施設は市の中心部にあるので、公共施設に行く場合は400円で行くことができると考える。岩倉病院が市の中心から少し離れた南西部分にあるので、市の北部からの通院の方は800円になる場合がある。

山内委員：以前の調査で、市の南部に交通空白地域があるという結果があるが、そうした地域の方のふれ愛タクシーの利用環境について、市として何か考えがあるか。

事務局：その調査の際に、市の南西部が交通空白地域としているが、その基準が駅やバス停からの距離としていた。その時はデマンド型乗合タクシーを想定して調査をしていたが、今回はタクシーなので、そういった地域のみ利用負担が大きいのということはない。

事務局：平成30年度に調査を行った際の目的としては、交通空白地域を埋めるために行ったものではなく、また、元々交通の便の悪い地域の方たちのデマンド型乗合タクシー利用率が高いということもない。岩倉市の南西部にある岩倉病院への利用はデマンド型乗合タクシーの時から多く、利用状況については分析をして、相対的な場所にある市の北東部から踏切を超えてくると800円を超えるのではないかと、ということ想定し料金設定をした。参考として、当時のデマンド型乗合タクシーの利用者が同じようにふれ愛タクシーを利用したとすると約85%の方が400円で、残りの約15%が800円になる可能性があるとして試算をしていた。

磯部会長：ふれ愛タクシーを始める前に比べ、利用者や市の負担金額はどう変わったか。

事務局：(資料3及び参考資料2を用いて説明)利用者数は2倍近くに増え、市の負担金額はおおよそ半分程度となっている。

(2) ふれ愛タクシー利用等共同調査の実施結果について

資料4について、須藤統括主査から説明

山内委員：コロナ禍におけるアンケートとして、タクシーに比べ、バスや電車の利用に懸念を感じる方の割合が多いという結果が出ているが、バスや電車もコロナ対策は万全にしている。

久留宮委員：ふれ愛タクシーの予約について、改善すべき点を把握したいので「帰りが取りにくい」というのはどういった意味か。

事務局：例えば、通院の場合、どの程度の時間を要するか利用者が分からないため、帰りの予約をするタイミングがうまく計れず、そのように感じるのではないか。家で往きのタクシーを待つのでは、感覚も違うと思う。

久留宮委員：私の予想した考えと同じなので、これからも利用者の利便性向上に努めていきたい。

山内委員：コロナ禍でも公共交通機関の利用は安心できることを知っていますか？といったアンケートの設問にして、利用者に対する安心感を促進できるとより良かった。

久留宮委員：タクシー事業者のコロナ対策としては、ドライバーと乗客・助手席の間に板を設け、ドライバーも検温し、車内の消毒や換気もしっかりしており、感染拡大しないようにしている。

磯部会長：そういった公共交通機関のコロナ対策を、ふれ愛タクシーのホームページにリンクを付けて周知しても良い。

9 その他

事務局：報告事項は今回2点でしたが、協議事項は現状としては無い状況のため、次回の予定は決めず、必要があれば開催することとする。

赤堀委員：すぐに解決できる問題とは考えていないが、ふれ愛タクシーの乗降禁止区域の設定について、利用者としては一般のタクシーと何が違って、禁止されているのか理解できない方達がいるので、改善いただきたい。

太田委員：同じ意見。降車のみでも良いので、禁止区域をなくしてほしい。降車は駅前でもできるようにしてほしい。

事務局：現状、いまずぐ解消できることではないので、一つの大きな課題として捉えていく。関係する交通事業者と相談しつつ、改善に向け検討していく。

久留宮委員：乗降禁止区域の設定は、タクシー事業者によるものではないということをお伝えする。

赤堀委員：誤解のないように伝えていく。

磯部会長：引き続き状況を判断し、一つの課題として考えていきたい。

上記のとおり、岩倉市地域公共交通会議の経過及びその結果を明確にするために、この会議録
を作成し、ここに署名します。

令和3年 6 月 2 日

岩倉市地域公共交通会議

会長 磯部友彦

